相撲地名評判記

ヲ 9
~~1260~~
1269

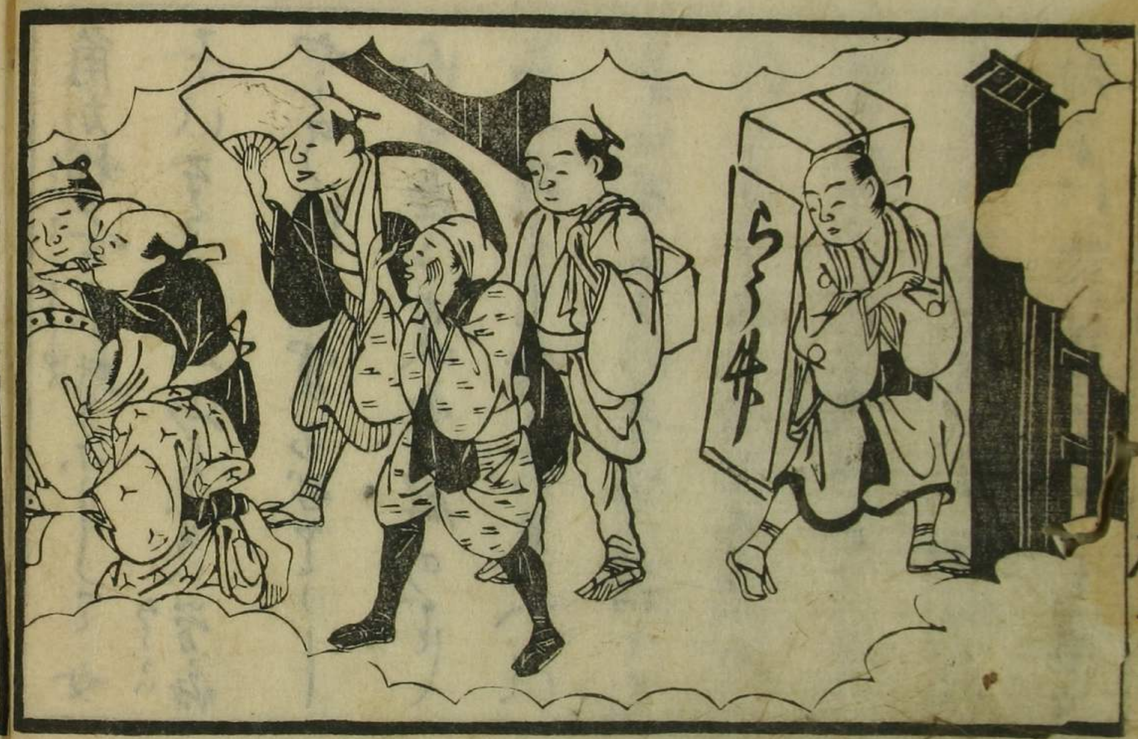
序

世ふ相撲を男子好道之故事作法と有り外出
牡吾騎馬の事ふ[illegible]と
遠い武士の[illegible]戦場
組打の利[illegible]を学ぶ伝く
諸国ふ稀ふも大男猪
ぞふちう[illegible]有ることを撰
代ふ名を残せ[illegible]国の
名所ふ山を名のふ又ハ

門ヲ9
荒 1269
巻

古来こう和字の関係をなる
を附らるゝも有り是年
古を慕ひ世々名誉利欲を
名ぶるこゝの形容しし
無くなる物を角力いく
服飾を貴ぶる世
仍て神年有り引く年有り
是計りを賢者は用ゐ廻し
世を世は愚人の稽古出く
又なる武人は口ふしなる

角力稽古未就ふして女
子は子なれ者は男子孫
やうに傾城買ふ記やうし
肉の厚き支を解のごと
上に成るも勝負見くば
是は壁に向て拳と先
初の立合互に心をあ
笑顔に接る義なれ
古に合はば立合はば
羽方は陰陽なり有り



ゆゑ八頃城賀を四十人手にぶ記
初めて作と云傳へ侍れば其私
出されぬく見まくほうこ
むし云ふて清矢をそられ
四十八手は裏表紙日〳〵のお附
も交ケ合ぐはは百八のちゃん
おぐ書〳〵一落を一ぐんの落を
を名殘おしくも思ふ地ふの
思ひの思も志ひ行つ
られて是腹やぐつれ大むしん

迎れ出て地ふ
かきをかこつ
宴席大勝ふのせわく
引出れ机は茶も明前
乃差をとりの
一ト志ん大きふ
く世紀交員に来賀れ
を乃時ては肩遠一歩る
時とぐまぐは其解横へ
ちかせられ向へ引出れん

皆んも先へ仕うちを呑込まん
獲ふ力をへるつくみがく姿も
内むきう枕ハ美見も皆ゞ
〳〵外むきうれうつき
者月見まへ〳〵をたうせ
云ずうう森も客乃くうと
氣ぐすまし枕ハ向ふの嬢
と横分ふうけ計方の仕掛
見合〳〵四ふ溶ればうんうゞ
平れをうぐ汗ふれれハ

ゆ古乃勝負れし一番理ケ
むをを仕ふく脊負投
乃みゞめと見かんきん乃
費まふ〳〵十年のうきめ
をと色やく欲しふ魂を失ウ
附ハ光り有うを玉もふりうゲ
ゞくみく第鶴古ふゞゞく
ゝも其道ふ魂を入れゞ
大丈ふなうう面れまも名之
役人者ハ枕れ

[illegible]

[illegible]

子ね初春

[illegible]

たいこの[illegible]れ

[illegible]

[illegible]

十日上ケ結

蘭皇舎

茅化書

相撲地名評判記

すまひちめいつうだんき

巻頭巻軸しゐ対ハ地名を以て

あ〳〵ヨすゐ〳〵次第不同

大關之部

巻頭

大關　谷風梶之助

日本ハおろか唐へも響く奥列のきんこ

大關　虹嶽　柴灘

江戸川でおしてのゑし西行峯の右世丸

大關　笠嶋　浦右灘

巻おしすハ月ふ見せぬ河波のゆ戸

大關　外濱波右濱

江戸大坂で所名おきれ余る浦川の漆

大關　鷲濱音右濱

山野海山と越して来る大名

大關　渦淵島吉

目白そりと由利の雪ひが浦原の集

大關　八ッ峯住右濱

左さしれ香合縁ふ打消さ　小倉袴

大關　永濱木賀八

引出物の古今　足利乃名作

大關　宮城野大八

何にかでも入りをる尾張丁せごろ見世

大關　高崎市十郎

源氏藏でとまをるせさ八京都にひかげ

大關　江濱源灘右濱

左右へきしのふひがさいさ　拾

大關　出水川林右濱

二代目も出る初きハ國　若子　附

大關　要石勝右濱

五出　末ふり　ひきの雪ひが廣　物

卷油

大關　風流山瀧右濱

いかるくまるもみを毛る九列の大滝　奇り

功績部

巻頭
大關　友綱良助
根張さハ何ホ張ても庭内の牡丹

大關　越海勇藏
年々衆くかゝぬハ　越後の七ツ〳〵

大關　稲川政右衛門
名物ハ〳〵〳〵和ら猪のあん池田のぐり炭

大關　業海金右衛門
ろ〳〵いまゝ〳〵れあるゆハ羅ヶ戸の場ニ布

大關　佐渡嶽沢右衛門
上列猪と玉川水に仕上ゲ江戸紫

大關　二子川法右衛門
迷所で出るハ庭のちれ板　弱留石

巻頭
大關　天津風雲右衛門
どのやうな上呑ても振出ス泡盛酒

關取之部

巻頭
關取　待乳嶺之助
誓ハ嬉ぐもハ地のさゝ〳〵かな潤ふ光ゆ

關取　戸田渡藤右衛門
古ゑ力きハ親ゑ孝ゑ〳〵　大川端

關取　荒石澳右衛門
市ゑ生活ハ水ゑ〳〵と大坂ゑ早状

蘭取　屏風嶽岡右衛門

ふなとかとなをとうん奥州のかまのわ

蘭取　関ヶ原　長次

波くはとしろうの岩小屋波九郎へ

蘭取　冨嶽　幸四

引留更留るが　千住の出口

蘭取　友彫　作

なんのそこの川ぶぐるぐる久留米九枝来

蘭取　一ツ守　赤市

阿波路清かゆるき相手たたかへなぐ

蘭取　雄山　岩之助

はてさたるる紀伊丹木屋の庭乃月見

蘭取　きくの出雲の出雲の出雲の出雲の出雲の出雲の出雲

四車　伊之助

蘭取　やうやうと作くた切の紙ゲ久留米九ゲ

柳尾　新蔵

蘭取　のろげ　北ゲ　上ゲ　ハ　長　来乃深来後

荒瀧　梶右衛門

蘭取　巻油　北出情をかけぬまゝ河波の千博

芙海　儀之助

當世之部

蘭取　所出情ハ今ん〳〵お雲の大社

真鶴　咲右衛門

蘭取　谷川辰蔵

微もの〻奥しなの八須町ものきりの

蘭取　鳥海源蔵

風味ものの八如来の鮮八秋田の大歌を

蘭取　栗谷川次郎吉

春の顔別をらのしをを紀伊國橋

蘭取　細川又吉

早つさ早咲きてんか新芸乃元蕾

蘭取　由良海五郎次

酒平と咲くくと い美鶴り須ゑ〻ゆ〻を物

功積ゑく部

蘭取　勝浦若兵清

かゝひ往見物の時ゝ重宝の八系

蘭取　錦嵩三吉丈

茶のこ支を清むいきゝく奇る楽屋

蘭取　伊藤嶽与吉丈

清むいきい永代たるゝ八ゆ涼川

蘭取　御崎山門吉丈

春のむ相場とまり縄前楽

蘭取　壇浦吉吉丈

相てとる雲丁ふせゆ首なりも

蘭取　瀧尾大又郎

さびゞむ〻〻陸〻〻井田の鉄湯

巻頭
開取　桑川平蔵
[illegible]　仮田町

前頭之部

巻頭
前頭　繋船源蔵
[illegible]　番町の花中き

前頭　秀山泰蔵
[illegible]の仲立ち

前頭　立岩半左衛
[illegible]切ぐん

前頭　荒熊峯蔵
名物の名の後く仙臺乃浜ぢり

前頭　乱源子三之助
賀茂さし八幡荒熊もをそくあ間

前頭　浪除半五郎
[illegible]の餅米

前頭　荒海八郎次
[illegible]越後の手遣

前頭　黒崎勝蔵
[illegible]阿波乃徳治

前頭　巖嶋関蔵
[illegible]入乃早ゞ後藤川田の入浦

前頭　五百嶽大五郎
[illegible]

前頭　滝風　峯右衛

春ハ顔ワラもちろ〳〵さぶのさく

巻油

前頭　出羽海金蔵

ぢらく〳〵もちこのくふなく　桝　桝

五格

前頭　江戸崎源次郎

相列　彩色　二代めの切しらの

前頭　力石勇助

なんやでもたれもまけぬ　ぶ〳〵

前頭　清見潟又五郎

若流の立物ハ進和ふ三列　汐

前頭　深雪彩八

殘れバ　三田乃赤花　桝

前頭　和田原甚四郎

ぢりーろくうんぐ　ぐるがする　細工

前頭　並松義次

引ゑあく又春の彷ろを　三田イ

前頭　満干潟勇蔵

春ハ塩ふく出ぬ　ぶ　ぶてお休ぶ

前頭　隅田川　万吉

めきゝ仕出情の首尾乃表

前頭　月見崎　音平

徒出の八色丼でてる金子も五大出来

前頭　雲林　与三郎

まゝ春のゝぎゝと三切茶わで待合

前頭　松崎　岩蔵

地たゝくぎゝしば鳴ゆが名ごわ木場

前頭　國見山　金蔵

春の響ゝ八冬の屋敷とゝふ品川の八ツ山

前頭　若藤　庄八

場所のまゝゝ氏八振るゐ川三河

前頭　御新浦　長五郎

前遠ゝうれ相もつきゝ羽ゝ下

前頭　鎌ヶ嶽　兵次郎

新川とゝる相もゝ見ゝまゝ

前頭　濱川　平蔵

まゝとゝゝ打上ゝゝ相場れ川濱

前頭　駒ヶ谷　岩之助

向ゝと伊丹錦付の外　秀川

前頭　卷絹　源蔵

西川岸ゝ川もゝひゝゝゝゝゝき

前頭　桂川　源右

がゝんどゝゝゝ新川の前　秀

蔵　千賀浦門三郎

力ちからくらべ　口

蔵　八ツ橋大八

大盃の相撲でし　狩小屋の有ル吳服屋

蔵　荒山袖助

清出　清八見る内ふ清門の山ゆき

蔵　大揺長五郎

はもかるれ　八ふさい　酉　のまち

蔵　若鍬力蔵

下まつ　くの　ゆるふ奥列の田　くく

蔵　秋濱鴻浦右衛門

かれ相　をどり　俊波　投　河

蔵　浮橋猴之助

そもく小奇　美精　とつきむ　ゆめ　橋

蔵　松尾木岩次

ちりはふ　なん　なる　も　ゑ　飲　ゑ　ば　こ

蔵　佐渡鴻金蔵

ゆとりの　喜衰　と　松　亀　る　俊　後　の　今　山

蔵　早渡庄次郎

め　ゆ　きり　や　居　む　情　河　波　ふ　れ　し　や

蔵　東岡庄助

杉　ゆ　ゆ　く　喜　俊　清　叶　の　市

蔵　袖浦岩蔵

みゆ　く　か　と　え　の　む　る　仙　臺　の　疏　孤

最上

岩井鶴孫四郎

[illegible]流の一流含丹

最上

宮谷長之助

[illegible]川のうれのうと魚と勝つかつ〜〜と

最上

今風小次郎

[illegible]と考へく須町の胡布

最上

小桜八文郎

[illegible]ぐ勝八有り寄る音羽の雪沼

最上

小車熊藏

[illegible]ぬ所川の一の橋

最上

加茂川源吾

[illegible]八第畑乃青山

最上

沖の鳥與八

[illegible]ひぐらしなるかつ井りて

最上

明見山浦右衛門

[illegible]八弟明おの右合刀

最上

百合嶽長七

[illegible]川の弟や

最上

若狭山松之助

[illegible]両國橋

最上

岩瀬源助

[illegible]川の雪解

最上

明山乙文郎

[illegible]深九河原の壁之要

番付

荒瀬川・大帝無清
花うしの居出情八又弟中れ一の文

番付

七瀬川常八
相人とうくとを小田原ういろう

番付

狭間川藤蔵
迫了海のお対ものと乃見おろすきや町

番付しゝ郎

番付　山嵐浪平

番付　桑崎甚八

番付　桐ヶ崎浪八

番付　関ヶ森孫兵衛

番付　雲嶽長蔵

番付　布引巻之助

番付　鶴ヶ山吉之帝

番付　櫛ヶ嶽政右衛門

番付　石濱辰之助

番付　三國川源兵衛

番付　矢嶽幸右衛門

せんべおうあげ角ゝ丸くちりとる
帝紙さだき

番付

初春　嘉藏
勇山　乙蔵
錦戸　忠蔵
市川　義藏
唐寿　大助
月見川　武六
八ッ谷　源蔵
大柳　新藏
桐海　辰之助
時津風　又次郎

番付

駒ヶ原　要藏
響灘　孫次郎
放駒　與助
小松山　虎之助
上総山　豊七
鶴濱　庄蔵
月出鶴　栄蔵
石渡　坂八
高砂　次郎七

羽咋・新藏
鯨波　岩之助
荒濱　庄兵衛
荒磯　熊平
鳥川　要助
芋鈴川　千藏
播川　七兵衛
久保浦　新藏
八ツ鳥　長四郎
桜戸　長代藏

藤ヶ瀬　ちゃうの藤ヶ瀬
なるこ　なるこ
仏ヶ崎　ほとけがさき

去冬京中出情

富士谷　庄八

おりゝの中ゝ洲さんゞ見ふ八笑度徳ゝ
新切の地ゝ

京中ゝ部

瀬踏崎　朝日野
吉野川　足尾山
山ノ端　花漆
廣ノ海　室ケ関
網崎　壇ノ浦
吉田川　八ツ森

八重嶋　荒・崎
小桐嶋　小松川
此浜場不言ハここ至夜賑しく
もろく處が小金乃弱しき

合中之部

西山　駒木野
綾世川　築紫山
日ノ出山　林川
東川　高根川
滝ノ音　霊山
浦里　石巻
荒乱子　所役川
立岩　三ツ山

楸川　鳴世川
宇田川　八ツ田川
白石　要石
滝川　中ノ嶌
駒ケ原　鷲ケ森
大和田　七ツ尾
二本松　荒汐
十七瀬川　天埜川
和田ケ濱　陸奥
岸ノ雲　浪切
山藤　中津川
楸山　鹿ケ浦
武蔵埜　桐ケ嶌
豊嶋　郷・躍山
志戸川　円

常陸
岩雲
二世川
吉盛川
与治
栗月山
荒鹿飛海
岩井川
雲浦川
荒岩

課山
二見川
岸ノ浪
勇橋子
花車
立ツ浪
三ツ濱
清見濱
志賀浦
虎ヶ石
立方

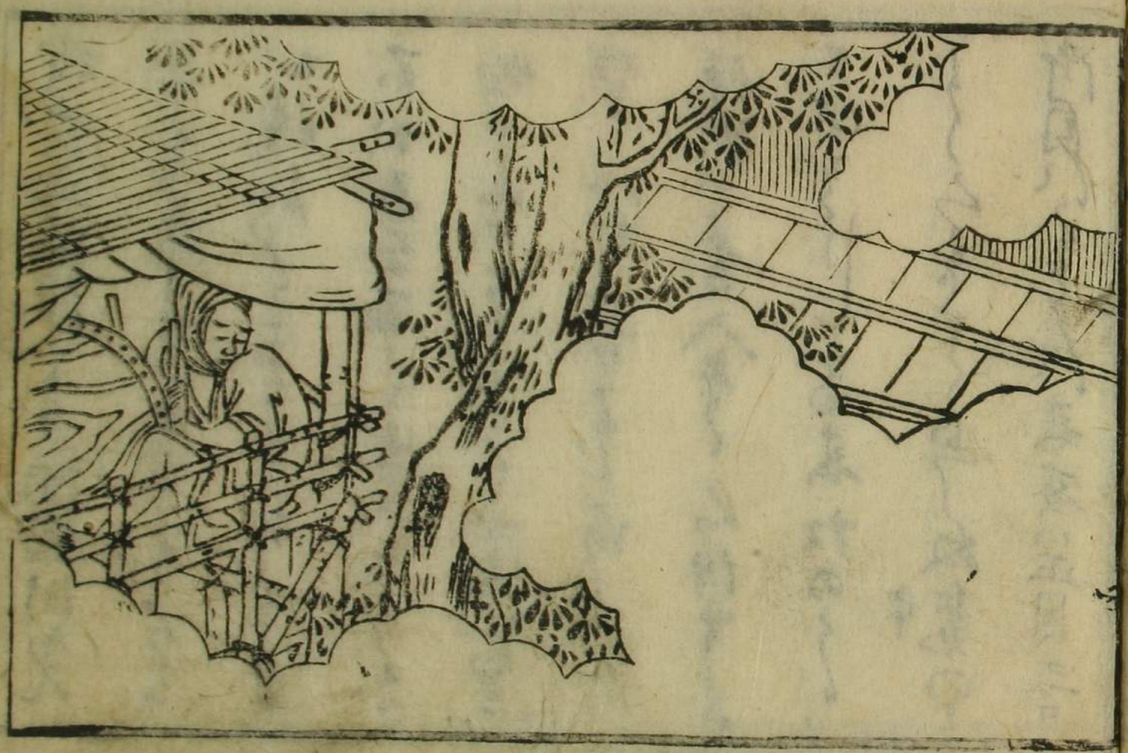
大木小方ハ梅ヲ二株ヲ生ゼ
名元手達小城ヲ光中ニ成リ

行司

木村庄之助

親玉の名の通り矢八三十三間堂

式守伊之助
木村与市
木村庄右衛
岩井嘉七
木村竹雲
式守為蔵
式守秀次郎



札場

機嫌上様御[illegible]
見てくれ。是でも。南丹[illegible]
[illegible]。[illegible]
不出来[illegible]書入[illegible]
物[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
御[illegible]

嘉永六正月三日

賣出しに仕来大坂の[illegible]
江戸の大せり合見せめ[illegible]
数向と書へ市[illegible]
[illegible]
君の代乃月出度戯[illegible]
角力[illegible]
[illegible]
乃市も大[illegible]
[illegible]
花と[illegible]

産業もれく世川ものめ、豆腐
とかく混雑し、深川筋乃
法華ハ女まぐ角力ハ氣ぶ盛そ
彼頃乃爭ひとなれ、新蕎麦
うなぎやハ別人のもてなを家
殺ハそば切のりふとれくぶ川
かまくらこと常ハ茄釜ハ
買ハ合ぶれハ鐵ぶう大酒
そうるせ砂糖ふ百ときれ
されぶく見物の人ハ日嫌者

かハ家ハを借ハ足を休
ざ深い夫丈の大親ハ借ハ
者ハ水茶屋ハ来ハ者氣ぶく
出ハ茶を仕立ハ立ハ始屋乃
かハ白ふハ玉川井のかハら
流れハ清ふ江戸川のすまふ
鰻屋の徳ハ
又ハ貴春も花盛ハ花ハれふ
出来突出ハ顔割ハ
どんぶくの者敷ハ自出かすハ

一番組子母澤寄人雲龍
奥さしく永代橋御見物掛ぐる
市饒ら組しし

安永九庚辛
子ノ正月

江戸橋四日市
竹川藤助板

寛政十年
午四月吉日